



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス  
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 釜井 節生  
 (氏名) 酒井 次郎  
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	59,225	2.5	3,316	24.5	3,428	25.6	2,759	14.0
28年12月期第3四半期	57,797		4,394		4,608		3,208	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 2,817百万円 (9.3%) 28年12月期第3四半期 2,577百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	84.69	
28年12月期第3四半期	98.49	

当社は、平成27年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成27年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	69,082	46,076	66.7
28年12月期	66,291	45,027	67.9

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 46,049百万円 28年12月期 45,000百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		21.00		29.00	50.00
29年12月期		25.00			
29年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	5.3	6,700	3.3	6,737	0.5	4,549	0.7	139.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	32,591,240 株	28年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	8,470 株	28年12月期	8,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	32,582,770 株	28年12月期3Q	32,582,810 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は5ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2016年12月期 第3四半期累計	2017年12月期 第3四半期累計	増減額	前年同期比
売上高	57,797	59,225	+1,428	102.5%
営業利益	4,394	3,316	△1,078	75.5%
営業利益率	7.6%	5.6%	△2.0p	-
経常利益	4,608	3,428	△1,180	74.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,208	2,759	△449	86.0%

当第3四半期連結累計期間（2017年1月1日～2017年9月30日）におけるわが国経済は、海外における不安定な政治・経済情勢等から先行きは不透明なものの、企業収益や雇用情勢の改善、輸出の拡大等を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。情報サービス産業におきましても、企業の情報化投資への需要が高まる中、概ね良好な事業環境が継続しました。

かかる状況の下、当社グループはより一層の差別化と業績の拡大を目指し、2016年度からの3ヵ年を対象とした中期経営計画「ISID Open Innovation 2018『価値協創』」を推進しております。4つの事業セグメントそれぞれにおいてソリューションの更なる強化に取り組むとともに、セグメント共通の戦略領域として「グローバル」「IoT/ビッグデータ」「2020&Beyond」の3分野に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、ビジネスソリューションセグメント、エンジニアリングソリューションセグメントならびにコミュニケーションITセグメントが好調に推移したことにより、前年同期比増収の59,225百万円（前年同期比102.5%）となりました。

しかしながら、利益面では、増収による効果があったものの、不採算案件の発生による原価増（約13億円）の影響により、売上総利益は前年同期比減益の18,333百万円（同97.4%）となりました。また、研究開発費ならびに人件費を中心に販売費及び一般管理費が15,016百万円（同104.0%）と前年同期比増加したため、営業利益は3,316百万円（同75.5%）、経常利益は3,428百万円（同74.4%）と前年同期比減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、固定資産の売却による特別利益の計上等があったものの、前年同期比減益の2,759百万円（同86.0%）となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

事業セグメント	2016年12月期 第3四半期累計			2017年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	16,135	1,454	9.0%	15,165	996	6.6%	△970	△458
ビジネスソリューション	12,269	1,226	10.0%	12,810	115	0.9%	+541	△1,111
エンジニアリング ソリューション	17,606	495	2.8%	18,650	799	4.3%	+1,044	+304
コミュニケーションIT	11,786	1,218	10.3%	12,598	1,405	11.2%	+812	+187
合計	57,797	4,394	7.6%	59,225	3,316	5.6%	+1,428	△1,078

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション

当セグメントは、金融機関の各種業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、次世代融資ソリューション「BANK・R」の大型案件終了等に伴うソフトウェア製品販売の大幅な減少に加え、メガバンク向けの受託システム開発案件が減少したことから減収となりました。利益面につきましても、減収の影響に加え、一部不採算案件の発生による原価増により減益となりました。

ビジネスソリューション

当セグメントは、基幹システムや経営管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、受託システム開発が運輸業向けを中心に拡大したことに加え、連結会計ソリューション「STRAVIS」、人事管理ソリューション「POSITIVE」等のソフトウェア製品ならびに「SAP」等のソフトウェア商品の販売が堅調に推移したことから増収となりました。一方、利益面では、一部案件が不採算化したことによる原価増に加え、研究開発の強化や人員増に伴う費用増により大幅な減益となりました。

エンジニアリングソリューション

当セグメントは、製造業の製品開発・製造分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、3次元CAD「NX」等、設計開発領域のソフトウェア商品の販売が電機・精密業界向けを中心に拡大したことから増収となりました。利益面につきましても、増収効果に加え、ソフトウェア商品の収益性改善ならびに経費抑制等により増益となりました。

コミュニケーションIT

当セグメントは、電通グループに対する基幹システムの提供、ならびに電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、電通グループとの協業によるビジネスが大型案件のピークアウトを主因に減少したものの、電通グループ向けのシステム構築案件が拡大したことから増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

サービス品目別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。

■サービス品目別売上高

単位：百万円

サービス品目	2016年12月期 第3四半期累計		2017年12月期 第3四半期累計		増減額
	売上高	構成比	売上高	構成比	
コンサルティングサービス	3,808	6.6%	3,858	6.5%	+50
受託システム開発	15,545	26.9%	16,008	27.0%	+463
ソフトウェア製品	10,867	18.8%	10,370	17.5%	△497
ソフトウェア商品	17,848	30.9%	18,634	31.5%	+786
アウトソーシング・運用保守サービス	5,591	9.7%	5,799	9.8%	+208
情報機器販売・その他	4,136	7.1%	4,553	7.7%	+417
合計	57,797	100.0%	59,225	100.0%	+1,428

■サービス品目別営業の状況

コンサルティングサービス

当サービス品目は、業務およびIT活用に関するコンサルティングサービスです。当第3四半期連結累計期間は、デジタルマーケティング領域が自動車業界ならびに電通グループ向けを中心に拡大したことにより増収となりました。

受託システム開発

当サービス品目は、顧客の個別仕様に基づくシステムの構築および保守サービスです。当第3四半期連結累計期間は、電通グループならびに運輸業の主要顧客向け案件が拡大したことにより増収となりました。

ソフトウェア製品

当サービス品目は、自社開発ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。当第3四半期連結累計期間は、連結会計ソリューション「STRAVIS」、人事管理ソリューション「POSITIVE」ならびに構想設計ソリューション「iQUAVIS」は堅調に推移したものの、次世代融資ソリューション「BANK・R」における大型案件終了に伴う反動減等により減収となりました。

ソフトウェア商品

当サービス品目は、仕入ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。当第3四半期連結累計期間は、電機・精密業向けに3次元CAD「NX」等の設計開発分野が拡大したことに加え、サービス業向けに「SAP」等の基幹業務分野が拡大したことにより増収となりました。

アウトソーシング・運用保守サービス

当サービス品目は、顧客システムの運用・保守・サポート、ならびに業務の受託サービスです。当第3四半期連結累計期間は、電通グループ向けが拡大したことにより増収となりました。

情報機器販売・その他

当サービス品目は、ハードウェアならびにデータベースやミドルウェア等のソフトウェアの販売および保守です。当第3四半期連結累計期間は、電通グループ向けが拡大したことにより増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、売上債権や預け金が減少したものの、主として前渡金、仕掛品や繰延税金資産の増加により流動資産が2,015百万円増加しました。また、有形固定資産が減少したものの、投資有価証券の増加等により固定資産についても776百万円増加した結果、前連結会計年度末の66,291百万円から2,791百万円増加し、69,082百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の部は、主として前受金や受注損失引当金の増加により流動負債が1,523百万円増加したことに加えて、主としてリース債務の増加により固定負債も219百万円増加した結果、前連結会計年度末の21,263百万円から1,742百万円増加し、23,005百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、主として利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末の45,027百万円から1,048百万円増加し、46,076百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高、利益ともに計画を下回って推移しており、厳しい状況ではあるものの、現時点では2017年2月9日に発表した予想を据え置くことといたします。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,316	3,216
受取手形及び売掛金	16,154	14,823
商品及び製品	36	41
仕掛品	1,119	2,516
原材料及び貯蔵品	29	17
前渡金	5,617	7,661
預け金	27,218	26,644
その他	1,554	2,170
貸倒引当金	—	△30
流動資産合計	55,046	57,061
固定資産		
有形固定資産	3,469	2,748
無形固定資産	2,999	2,872
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,776	6,400
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,775	6,399
固定資産合計	11,244	12,020
資産合計	66,291	69,082
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,467	5,287
未払法人税等	965	1,076
前受金	6,989	7,647
受注損失引当金	64	629
事業構造改善引当金	25	—
訴訟損失引当金	—	153
資産除去債務	—	10
その他	6,060	6,291
流動負債合計	19,573	21,096
固定負債		
役員退職慰労引当金	1	—
退職給付に係る負債	8	9
資産除去債務	840	887
その他	839	1,012
固定負債合計	1,690	1,909
負債合計	21,263	23,005



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	21,217	22,217
自己株式	△29	△29
株主資本合計	44,655	45,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	101
為替換算調整勘定	270	292
その他の包括利益累計額合計	344	394
非支配株主持分	27	26
純資産合計	45,027	46,076
負債純資産合計	66,291	69,082

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
売上高	57,797	59,225
売上原価	38,968	40,891
売上総利益	18,828	18,333
販売費及び一般管理費	14,434	15,016
営業利益	4,394	3,316
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	27
為替差益	67	—
投資有価証券売却益	7	55
保険配当金	44	42
助成金収入	42	29
雑収入	52	13
営業外収益合計	246	168
営業外費用		
支払利息	14	12
持分法による投資損失	4	2
為替差損	—	18
投資事業組合運用損	4	17
雑損失	10	5
営業外費用合計	32	56
経常利益	4,608	3,428
特別利益		
固定資産売却益	—	657
関係会社株式売却益	259	—
特別利益合計	259	657
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	—	152
特別損失合計	—	152
税金等調整前四半期純利益	4,868	3,933
法人税、住民税及び事業税	1,436	1,676
法人税等調整額	215	△511
法人税等合計	1,651	1,164
四半期純利益	3,216	2,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,208	2,759

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	3,216	2,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	27
為替換算調整勘定	△616	22
その他の包括利益合計	△638	49
四半期包括利益	2,577	2,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,570	2,808
非支配株主に係る四半期包括利益	7	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2016年1月1日至2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	
売上高					
外部顧客への売上高	16,135	12,269	17,606	11,786	57,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,135	12,269	17,606	11,786	57,797
セグメント利益	1,454	1,226	495	1,218	4,394

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	
売上高					
外部顧客への売上高	15,165	12,810	18,650	12,598	59,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,165	12,810	18,650	12,598	59,225
セグメント利益	996	115	799	1,405	3,316

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)における生産実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	11,622	90.3
ビジネスソリューション	7,667	103.7
エンジニアリングソリューション	3,941	117.9
コミュニケーションIT	5,376	101.4
合計	28,608	99.0

当第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)における生産実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
受託システム開発	16,228	102.2
ソフトウェア製品アドオン開発	5,804	89.6
ソフトウェア商品アドオン開発	6,575	100.2
合計	28,608	99.0

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発及びソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。  
 2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。  
 3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)における受注状況を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	12,327	91.9	4,090	110.8
ビジネスソリューション	6,472	69.9	2,577	61.8
エンジニアリングソリューション	4,250	131.3	1,212	172.6
コミュニケーションIT	5,811	100.9	1,672	100.7
合計	28,861	91.1	9,553	93.5

当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)における受注状況をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
受託システム開発	16,397	91.1	4,964	87.8
ソフトウェア製品 アドオン開発	5,713	83.5	2,491	94.6
ソフトウェア商品 アドオン開発	6,749	98.8	2,097	108.5
合計	28,861	91.1	9,553	93.5

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発及びソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。  
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)における販売実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	15,165	94.0
ビジネスソリューション	12,810	104.4
エンジニアリングソリューション	18,650	105.9
コミュニケーションIT	12,598	106.9
合計	59,225	102.5

当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)における販売実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティングサービス	3,858	101.3
受託システム開発	16,008	103.0
ソフトウェア製品	10,370	95.4
ソフトウェア商品	18,634	104.4
アウトソーシング・運用保守サービス	5,799	103.7
情報機器販売・その他	4,553	110.1
合計	59,225	102.5

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自2016年1月1日 至2016年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通	7,324	12.7	7,756	13.1